

上五島分教室の概要

令和4年度

1 上五島分教室の沿革

- 昭和53年4月 長崎県立佐世保養護学校開校（知的障害のある児童生徒を対象）
- 昭和57年4月 高等部開設
- 平成19年4月 総合化の本格実施（知的障害教育と肢体不自由教育を行う養護学校）
- 平成22年4月 校名変更『長崎県立佐世保特別支援学校』
- 平成25年4月 長崎県立上五島高等学校内に高等部上五島分教室開設
- 令和4年4月 高等部上五島分教室第10回入学式

2 学校経営方針

校 訓

健康 協力 自立

学 校 教 育 目 標

児童生徒一人一人に応じたきめ細かな指導を通して、健康で日々楽しく生きがいをもって生活できる力や、自ら考え主体的に行動できる力を身に付け、他を思いやる心をもって積極的に社会参加し役割を果たしながら、生涯にわたって自分らしい豊かな人生を送ろうとする人間を育成する。

上五島分教室 努力目標

- ① 社会で活躍するために必要な知識・態度・体力の定着を図り、授業の工夫・改善に努める。
- ② 自己選択・自己決定する力を高めながら進路実現を図り、自立する力を育成する。
- ③ 自分も他者も大切にする心を育て、上五島地区の発展に寄与するための教育実践に取り組む。

3 分教室の特徴

強 み	課 題
○地元で学習できる。 ○少人数であるため決め細やかな対応が可能。 ○一般の高校生(上高生)と日常的な触れ合いができ、合同の行事等を通して、互いに刺激し合える。	○知的刺激に接する機会が少ない。 ○中集団（20～40名程度）での活動が難しい。 ○憧れとなる卒業生や先輩が少ない。 ○地域の大人から学ぶ機会が少ない。

4 分教室の役割

- ① 在籍する生徒に対する直接教育
- ② 地域の幼保小中等学校等に対する相談支援（特別支援教育に関するセンター的機能）
- ③ 関係機関との連携による上五島地区内の特別支援教育の活性化
- ④ 地域に対して障害者理解に関する啓発活動

5 生徒数（定員：8人×3学年）

- 1年……6人
- 2年……3人
- 3年……2人 合計11人

6 週時間割

	時間	月	火	水	木	金
	8:40 ～ 8:50	S・H・R				
1	8:50 ～ 9:35	体づくり運動				
		掃除				
2	9:45 ～ 10:35	生活単元	道徳	国語	職業	生活単元
	10:45 ～ 11:35	自立活動	作業 (職業)	数学	作業 (職業)	国語
4	11:45 ～ 12:35	総合探究		特活		数学
	12:35 ～ 13:20	昼食指導				
5	13:20 ～ 14:10	家庭	音楽／美術	保体	作業	自立作業
	6				14:10 ～ 15:00	
		15:00 ～ 15:15	S・H・R			
	15:15 ～ 16:20	部活動（美術部・陸上部）：月火木金				

7 特徴的な学習活動

- ①「体験実習」……○1年生の6月に2週間と11月に1週間、1学年集団で行う。
○作業内容は、結果が分かりやすい除草作業や清掃作業などに取り組む。
- ②「現場実習」……○1年生は11月に1週間、2年生は6月2週間・11月3週間、
3年生は6月と11月に3週間ずつ行う。
○自宅から通勤し、単独で実習先で行われている作業をする。
- ③「進路先見学」……○社会には仕事や生活をする場所として、どのような所があるのかを知る。
○職業訓練校の長崎能力開発センター（雲仙市）での体験（2年生7月）
○ハローワークなどの相談機関の利用の仕方についても実際の現場で学ぶ。
- ④「校外学習」……○公共交通機関や公共施設の利用、社会の仕組みやマナー・ルール、生活の仕方などを、学校外での実際の体験を通して学習する。
- ⑤「交流学习」……○上五島高校の行事への参加及び共同授業、地域の老人クラブとのスポーツ交流などを通して、自他を尊重する気持ちを高める。
- ⑥「地域活動」……○学校近隣道路の清掃活動、蛤浜の清掃活動、近隣商店の紙袋制作、町内の福祉事業所商品の委託販売（文化祭ハザー）、地元のお土産品の開発などに取り組むことで、ふるさとを愛する気持ちを高める。

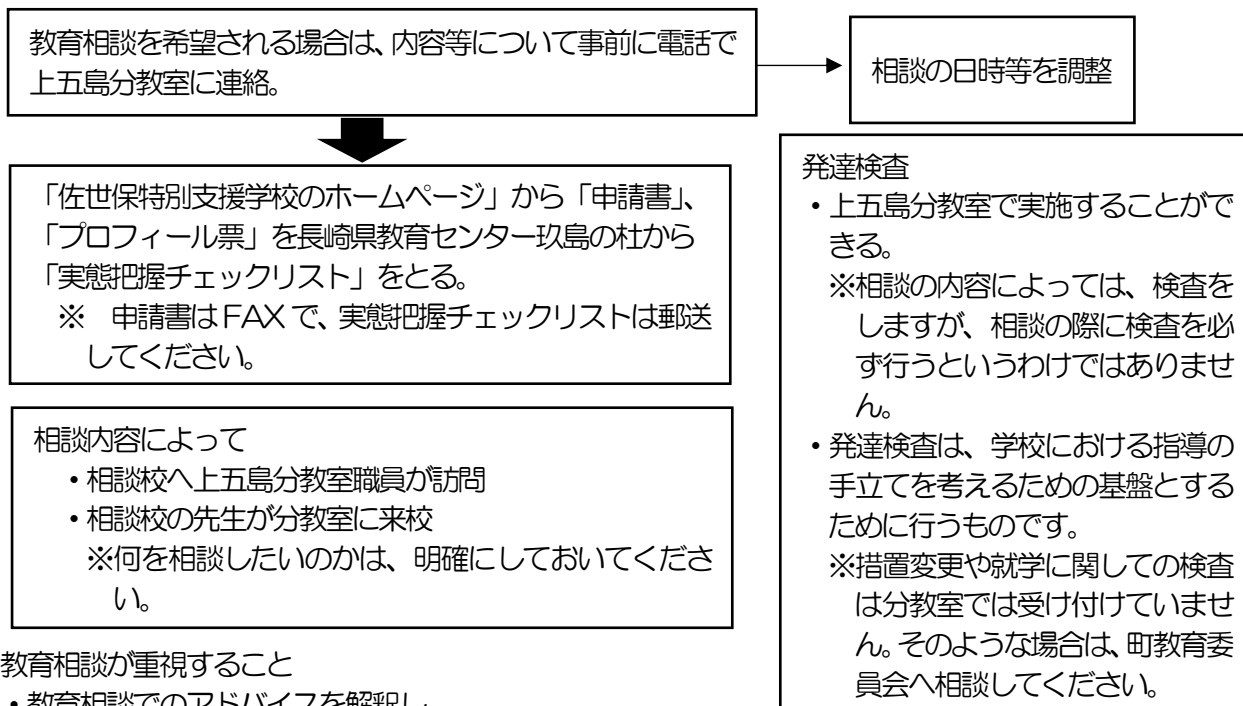
8 年間の主な行事

主 な 行 事 予 定	
4月	○入学式 ○1学期始業式 ○歓迎遠足（上高と合同で実施）
5月	○新体力テスト ○土曜授業参観 ○開校記念日
6月	○前期体験実習・前期現場実習 ○実習先見学（1年生）
7月	○1学期終業式 ○家庭訪問（1年生） ○個別面談（2・3年生）
8月	○登校日（8月9日） ○2学期始業式
9月	○体育祭（上高と合同で実施） ○修学旅行（3年生）もしくは本校交流（宿泊）
10月	○体験入学 ○文化祭（上高と合同で実施）
11月	○避難訓練 ○後期体験実習・後期現場実習
12月	○2学期終業式 ○進路面談（3年生）
1月	○3学期始業式 ○生徒募集説明会 ○マラソン大会（上高と合同で実施）
2月	○個別面談（1、2年生）
3月	○卒業式 ○入学者選考検査 ○校外学習 ○修了式

9 教育相談について

○教育相談は、子どもの実態を見極めて、どのように支援すれば望ましくなっていくのかを、相談校の先生方に伝えていくもの。

○教育相談の手順



○教育相談が重視すること

- ・教育相談でのアドバイスを解釈し
 - ①子どもに関わる相談校の全ての先生方で共通理解すること
 - ②更に応用し発展させていくという姿勢で、日々の指導や関わり方を見直し改善していくこと
 ※先生方が変わることによって子ども達が変わりますので、先生方が知恵を出し合い改善していくことが大切です。

10 卒業生の主な進路先

	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度
一般就労	1人	1人	2人	2人	1人	1人	2人
就労継続支援A型	1人	—	1人	—	1人	1人	—
就労継続支援B型	2人	—	1人	—	—	—	—
就労移行支援	—	—	2人	—	—	2人	1人
生活介護	—	—	—	1人	—	—	—
在宅	1人	—	—	—	—	—	—
計	5人	1人	6人	3人	2人	4人	3人

○一般就労

社会福祉法人秀峯会 つつじが丘
社会福祉法人青山会 グリーンヒルかみごとう
マツモトキヨシ
社会福祉法人清和会 朝海荘
エレナ青方店

○就労継続支援A型事業所

A型JOPP（ココロキッチン） オードリー（佐世保市）
佐世保自立支援センターチャレンジ（佐世保市）

○就労継続支援B型事業所

社会福祉法人友星会 ワークプラザ上五島 オードリー（佐世保市）
佐世保サンライズたかはた（佐世保市）

○就労移行支援事業

JOPP 上五島 オードリー（佐世保市）
社会福祉サービス事業 さんらいず（長崎市）

○生活介護

社会福祉法人友星会 ワークプラザ上五島

就労継続支援事業所

- 一般企業への就職が困難な障害者に就労機会を提供し、生産活動をとおして知識と能力の向上に必要な訓練などを行う。
- 就労継続支援の事業所の形態にはA、B二種類ある。
A型は障害者と雇用契約を結び、原則として最低賃金を保障するしくみの雇用型。
B型は契約を結ばず、利用者が比較的自由に働ける非雇用型。

【問い合わせ先】

長崎県立佐世保特別支援学校高等部上五島分教室
部主事：戸村文夫

〒857-4511

長崎県南松浦郡新上五島町浦桑郷306

Tel: 0959-54-1121

Fax: 0959-54-1131

メール: kamigoto-b@news.ed.jp